

# 価値創造ストーリー



外部環境	世界的なCO <sub>2</sub> 削減要請の加速
循環型社会の拡大	世界人口の増加
日本の超高齢社会進展と人手不足	水リスクの顕在化
原材料の調達リスク増大 (サプライチェーンマネジメントの要請)	個人の価値観多様化

**Mission** 新しい幸せを、わかすこと。

**Outcome** 世界の人々や社会に提供する価値

豊かな暮らしと地球への貢献を両立できる社会

<b>サステナビリティ</b> ● 人と地球の適切な関係	<b>ウェルビーイング</b> ● お湯と食のプラスの価値	<b>ケア</b> ● 多様性と人への寄り添い
---------------------------------	----------------------------------	----------------------------

**Output** 事業活動の結果(2030年ありたい姿)

経済目標	売上	3,000 億円以上	<b>2030年 Vision</b> 「なくてはならない」を、 届けつづけるために。 「なくてはならない」を、 新しくつくるために。
	ROE	8% 以上	
ESG目標	製品CO <sub>2</sub> **	-30% (国内グループ)	
	事業CO <sub>2</sub> **	-50% (国内グループ)	
	製品リサイクル	30万台 (国内グループ)	

※2018年度比、CO<sub>2</sub>削減量

## Input 価値創造の源泉

さらなる価値の創造へ

**Values**  
すべては挑戦からはじまる。

<b>自然資本</b> 事業を支える貴重な資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー投入量：147,485GJ(単体)</li> <li>原材料投入量：28,703t (うち金属材料：28,131t)(単体)</li> </ul>
<b>人的資本</b> 事業を支える多様な人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員：6,280名(グループ)</li> <li>海外人員比率：43%</li> </ul>
<b>知的資本</b> これまでに培ったコア技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃焼制御・熱交換・流体制御技術</li> <li>研究開発人員：481名(グループ)</li> </ul>
<b>社会・関係資本</b> 創業以来築いたつながり	<ul style="list-style-type: none"> <li>展開国：17の国と地域</li> <li>お客様(ユーザー)とのつながり：457万件(国内グループ)</li> <li>サービスネットワーク</li> </ul>
<b>製造資本</b> グローバル展開する生産技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造拠点：国内7社・海外6社</li> <li>プレス、ダイカスト、樹脂成型、溶接、造管技術他</li> </ul>
<b>財務資本</b> 事業を支える財務基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>純資産：126,667百万円(グループ)</li> <li>自己資本比率：58.7%(グループ)</li> </ul>

## Process 事業活動

開発 → 製造 → 品質管理 → 販売 → アフターサポート

脱炭素社会・循環型社会実現に向けた深化と探索

<b>国内住宅</b> 深化 ・新規商材投入 ・高付加価値品拡大 ・厨房分野拡大	<b>国内非住宅</b> 探索 非対人領域開拓	<b>海外事業</b> 深化+探索 ・北米・豪州への新規商材投入 ・中国の厨房拡大 ・東南アジア展開(浄水器) ・新規国開拓
--	-------------------------------	---

実現のドライバー：熱活用技術・データソリューション・グローバルな広がり・お客さまとの新たなつながり・サービス対応力

## Materiality 重要課題

<b>事業継続における重点課題</b> つながりを起点とした顧客価値最大化 ー カーボンニュートラル/社会課題対応 (国内住宅・国内非住宅・海外)	<b>資本強化における重点課題</b> カーボンニュートラル・資源循環促進による自然資本開発 ー 事業を支える人的資本開発	事業拡大に向けた知的資本開発 ー DX等による製造資本開発
--	--	-------------------------------------

## ガバナンス/戦略

<b>取締役会</b> ● 実効性向上 ● 独立性と客観性の確保	<b>ERM(統合型リスク管理)</b> ● 重要リスク管理 ● 内部統制強化	<b>財務戦略</b> ● 資本収益性向上 ● キャッシュフローアロケーション
-------------------------------------	--	--